

日本の心を味わう こども園お茶会

2月27日に町民センター和室でこども園のお茶会が開かれました。

子どもたちは、普段なかなか見ることのできないお茶と茶菓子にとまどいながらも先生のまねをしながら茶道を体験しました。

はじめは「にがーい」という声も聞こえてきましたが、次第に慣れ、甘い茶菓子との組み合わせもあり、最後は全員おいしそうに飲み干していました。

広報

なかとんべ
No.700

2018. 3 March

今月の PickUp

| | |
|-------------------------|----|
| 特別養護老人ホーム増改築工事…… | 2 |
| まちの話題…… | 6 |
| ダリン&ジリアンのALT通信…… | 7 |
| HPリニューアル…… | 8 |
| 町長がおじゃまします団体編開催報告 …… | 10 |
| 保健師さんの健康宅配便…… | 12 |
| 図書室だより…… | 13 |
| 戸籍だより・編集後記など…… | 14 |



特別養護老人ホーム長寿園増改築工事

入居者にも職員にも過ごしやすい施設を目指して

◆社会福祉法人南宗谷福祉会の沿革

昭和49年12月に社会福祉法人南宗谷福祉会を設立。昭和50年2月に養護老人ホーム長寿園開園（定員50名）、昭和51年2月特別養護老人ホーム長寿園開園（定員50名）。昭和54年4月には、養護・特別養護老人ホーム長寿園それぞれ定員を55名とし、経営してきました。

◆高齢者がこれからも暮らしつづけられるための環境整備

特別養護老人ホーム長寿園

は、開園後修繕を重ねてきたものの、施設建設から43年が経過し、居室、共用部分などの全てにおいて老朽化が進み、入居者の衛生面をはじめとする住環境を維持することが困難な状況となっていました。平成26年度、南宗谷福祉会から特別養護老人ホーム長寿園の増改修整備事業を進めるため、町に対し支援の要望がありました。

この増改修事業では、「利用者の尊厳を守り、豊かな居住環境と高品質な介護を実現する。」を基本テーマに、

①多様性に富んだ居室（個室、多床室）づくり

②可能な限り自立した生活を送ることができる環境

③既存施設を活かしつつ増築施設と調和を図る

④利用者への高品質な介護サービスの提供と低管理コストの実現の4つを図ることを基本に据えた計画書が示されました。

町は、その計画内容をもとに、現状の施設の状況を確認するとともに、計画内容の検証を内部で進め、町としてどう支援することができのうか協議を進めてきました。

町としては、特別養護老人ホームを利用する高齢者がこれからも安心してこの地域で暮らし続けられることが重要であり、高齢化に伴い、今後も継続的な需要があると想定しております。現在もそこで生活する利用者のためにも住環境の改善が急務であることから、本町にとってなくてはならない必要な地域資源として位置づけ、財政支援を講じることとしました。

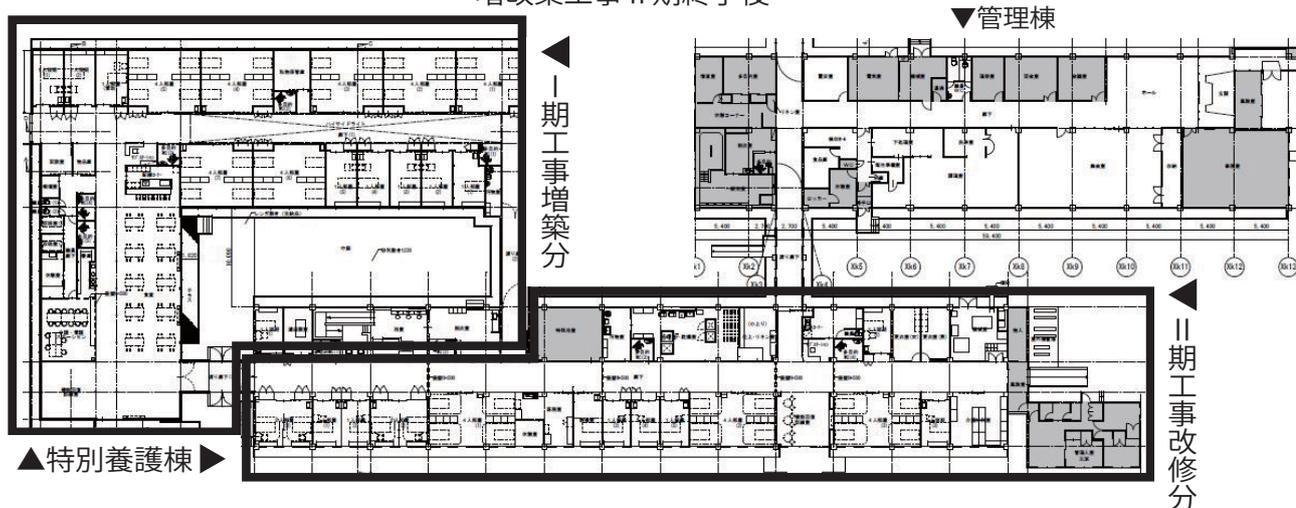
具体的な支援としては、基本設計に要する経費の2分の1を補助。3カ年の建設に要する経費について、全額を財政支援することとしました。

これまで行われた工事の内容として、Ⅰ期工事は特別養護老人ホームの食堂および居住区部分の増築を行い、居住区部分では今までの多床室だけでなく、一部個室化も進めるとともに食堂と介護・看護ステーションを隣接したことに より入居者と職員の距離感が近づきアットホームな雰囲気となりました。

Ⅱ期工事では、建設当時から40年以上経つ建物の改修とⅠ期工事に引き続き個室化を進め、2人部屋の改築も併せて行いました。

今回は、Ⅰ期、Ⅱ期工事の増築・改修箇所の詳細と、これから行われるⅢ期工事についての展望を紹介します。

増改築工事Ⅱ期終了後



◆Ⅰ期・Ⅱ期工事改善点
増築部分には回廊型の通路を採用

Ⅰ期工事で行った、食堂および居住区部分の改修では、施設の通路を一回りすると元の場所に帰ってくる回廊型と呼ばれる作りになりました。

これは、入居者と職員の移動距離を短くするために設計されたもので、直線の通路よりも入居者が居室に戻る際や、ナースコールで職員が駆けつける際の距離が短くなるため、入居者の生活環境の充実と、緊急時の職員の対応力を高めることができます。

また、施設内で散歩をする場合、行って戻ってくる単調な動きではなく、通路を一周する間に景色がどんどん変わるため、より意欲的に施設内で散歩することができる環境

となりました。

多目的トイレの増設

工事前、特別養護棟に1箇所しかなかったトイレは、Ⅰ期、Ⅱ期工事合わせて9カ所の多目的トイレとなり、居室などから近いトイレを選ぶことができるようになりました。車椅子から便座への移乗や職員の介護が左右どちらからでも行えるように設計されております。

一般浴室の改修

今までの一般浴室は浴槽まで階段があり、足のが不自由な入居者は特殊浴槽を使った個別入浴を利用していました。しかし、スロープ式の浴槽の採用と浴槽にそのまま入ることができる車椅子の導入により、一般浴室の利用が可能

となり、今まで機械浴を利用していた特養入居者の半数以上が、一般浴室の利用への移行を予定しております。広く解放感のある浴槽でほかの入居者とコミュニケーションを図りながら入浴を楽しんでもらえる環境となりました。また、今までは養護と特養で共用の一般浴室を使っていたため、1日当たりの入浴者数が多いことから使用できる曜日が限られておりました。増設に伴い、既存の一般浴室を養護の入居者、新しくできた一般浴室を特養の入居者がそれぞれ利用することで、入浴する曜日や時間の設定などに自由度が増え、より快適な生活を送ることができるようになりました。



▲浴槽内でも使用できる車椅子

多床室から一部個室の増加

増改築工事前は、入居者の居室は全て多床室（4人部屋13室、2人部屋2室）でしたが、Ⅰ・Ⅱ期工事の改修により、4人部屋10室、2人部屋2室、個室11室となりました。さらに、4人部屋は従来よりも広く、収納機能のある家具を仕切りに使うことで、より住みやすくプライバシーに配慮した作りとなりました。また、増築分の2人部屋については、可動式の仕切りを採用するこ

とで部屋をつなげたり、分けたりすることが容易となり、夫婦で入居した場合にも対応できる形となりました。



▲4人部屋の家具を使った間仕切り

ショートステイ専用床が1床から5床へ増床

ショートステイとは、介護する家族が用事で外出する場合や、病気や冠婚葬祭などで介護ができない場合、一時的に特別養護老人ホームなどに入所して様々な介護を受けることができる介護保険サービスです。今回の工事で、ショー

トステイを利用される方の専用床が1床から5床へ増え、より利用しやすい環境となりました。

今までは、1床しかなく、申し込みの状況によってはサービスを受けられないこともありました。5床に増えたことにより、介護する家族の用事のほかに、特養への入所を希望しており、どういう雰囲気か体験してみたいといった要望でも、一層気軽に申し込んでいただけるようになりました。さらに、個室ではなく誰かと話しながら過ごしたいと言った要望にも応えられるよう、一般入居者向け4人部屋に空きベッドがあればショートステイとしても利用できるようになっています。

◆Ⅲ期工事の展望

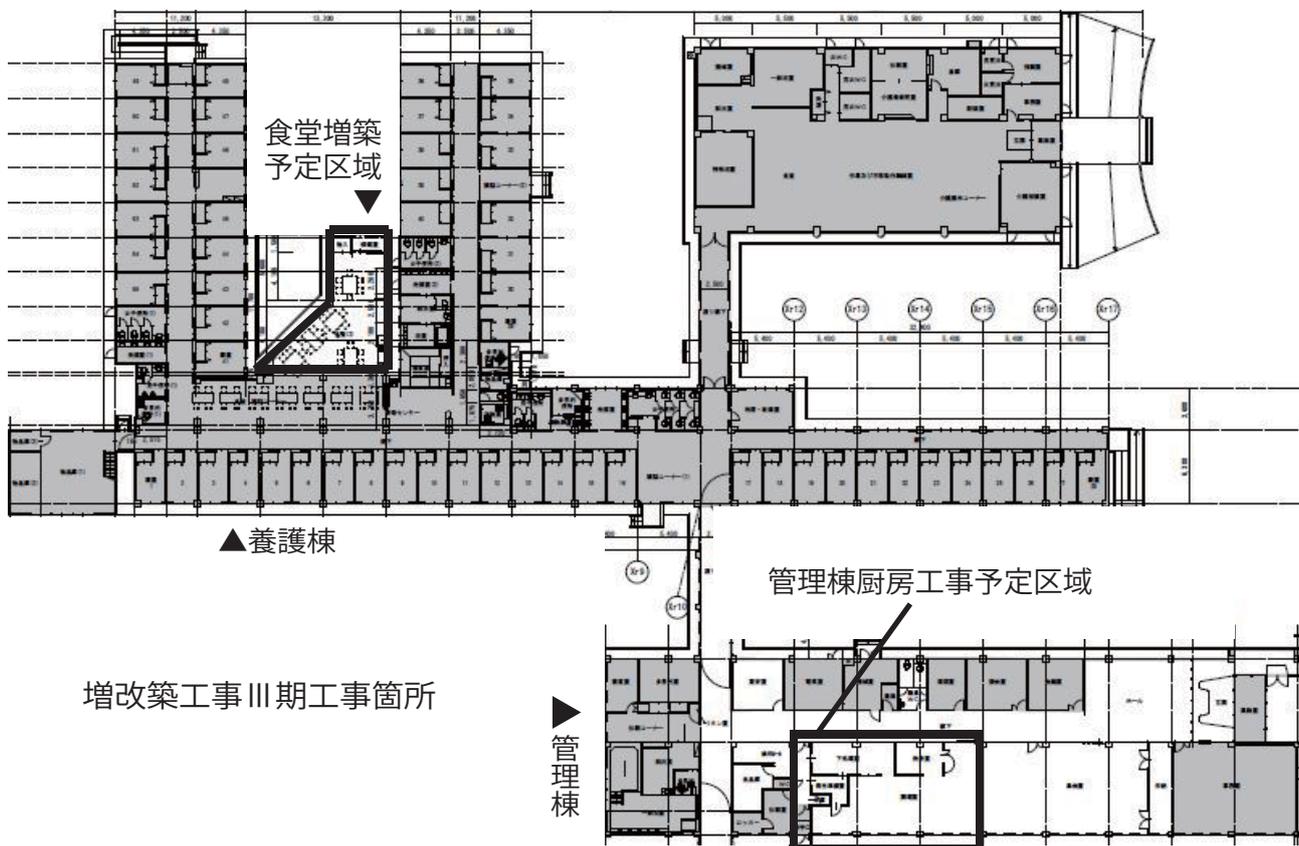
管理棟内厨房の一新

長寿園の開園当時からある厨房では、特養・養護の入居者やデイサービス、在宅宅配サービスを含めて、1回に120食以上調理しています。平成10年の増改修から20年が経過しており、きざみ食など利用者の状態に配慮した食事を提供するには手狭となってきました。また、衛生面から今では一般的にあまり見られない間取りや床使用となっており、設備の老朽化と合わせて差し迫った課題でした。このことから、今回の厨房の改修では、食数に見合った調理スペースの確保と衛生面の強化を行い、将来にわたって長く安全安心な食事が提供できる設備を目指しています。また、調理スペースを確保することで、職員の導線確保の

ほか、将来、栄養士や調理員を目指す学生の研修や体験学習の受け入れなどの教育活動への協力にもつながります。

養護棟食堂の増築

現在、養護では食事を管理棟と養護棟の2か所の食堂に分けて行っています。介護従事者と調理従事者の人員がそれぞれ分散され食事中の見守りや配膳、下膳の効率が悪い状況でした。そのような中、養護の入居者全員で食事したいという声が入居者から上がり、Ⅲ期工事で寮母センターの横を増築し、食堂を広げることとしました。これにより、養護の利用者全員で食事をすることができるとともに、分散されていた職員を集中的に配置することができ、利用者の安全面と支援の質を高めることができるようになります。



日々の学びを披露
こども園生活発表会

2月3日、こども園で生活発表会が行われました。たくさんのお保護者がかけた中、園児たちはきれいな衣装に身を包み、一生懸命劇や踊りを披露しました。年長組の英語劇では、ALTの2人と英語の歌を披露。会場の注目を集めた素晴らしい劇となりました。



地域に根ざした連携を
郵便局包括連携協定

2月13日、郵便局との包括連携協定が締結されました。協定締結式では、中頓別郵便局長、小頓別郵便局長、音威子府郵便局長の3名が小林町長と協定書を交わしました。協定内容は町内の高齢者などの見回りや道路の破損状況の報告などであり、より住みやすい町とするための協定となりました。



心も身体も元気に
こども園笑いヨガ

2月14日、こども園で笑いヨガが行われました。講師として佐藤保健師を招いて行った今回のヨガでは、大きな動きの中に笑うことを取り入れ、口角を上げ、大きな声を意識するもので、参加者は終始リラックスしながらヨガを楽しんでいました。



間食について考える
健康づくりセミナー

2月22日、名寄市立大学保健福祉学部栄養学科教授の長谷部幸子さんを講師にお招きし、健康づくりセミナーが開催されました。今回は、心にも体にもやさしい間食をテーマに講演していただき、その後、学生が考案した低カロリーな間食メニューを作り全員で試食しました。



ダリン&ジリアンの ALT 通信



This article written by Mr. Darin
今月の担当はダリン先生

Aloha Nakatombetsu,

In Japan, mochi is a food eaten for times of celebration, such as New Year's, anniversaries, and seasonal events, especially Hinamatsuri. However, in Hawaii, mochi is a popular dessert eaten all year round. Just like Japan, some families still pound mochi the traditional way with mallets and a mortar. But that can't happen every time we want to eat mochi! So, we have a shortcut-way to make mochi as an anytime snack or a popular party dessert. Here's a twist on the traditional rice cake! Enjoy!

Directions:

Preheat oven to 180° C. Grease a square cake pan. In a large bowl, combine all ingredients and mix well. Pour into prepared pan. Bake for 45 minutes. Cool, cut, and serve.

アロハ、中頓別の皆さん！

日本ではお祝いや（新年、記念日等）季節行事、特にひな祭りにお餅を食べられています。しかし、ハワイでは、一年中人気のデザートとして食べられています。日本と同じように、いくつかの家庭がまだ臼と杵でお餅をついています。お餅を食べたいときに、臼と杵でついたら、大変でしょう。だから、簡単な方法でいつでも食べられるおやつ、人気のパーティーのデザートとして作られます。下のレシピで、挑戦してみましよう！

オーブンで180℃で予熱します。四角形のフライパンに油を塗る。大ボウルで全部の材料を入れ、よく混ぜる。油を塗ったフライパンに入れる。45分で焼く。冷ましてから、切って出来上がり。

ココア・モチ

材料：

| | |
|-----------|--------|
| もち粉 | 230g |
| 砂糖 | 150g |
| ココアパウダー | 大さじ1 |
| ベーキングパウダー | 小さじ1/2 |
| ココナッツミルク | 240ml |
| バター（溶けた） | 大さじ2 |
| 卵 | 1個 |

Chocolate Mochi

Ingredients:

| |
|-----------------------|
| 230g mochiko |
| 150g sugar |
| 1 Tbs. cocoa powder |
| 1/2 tsp. baking soda |
| 240 ml coconut milk |
| 2 Tbs. butter, melted |
| 1 egg |



中頓別町ホームページをリニューアルしました！

一 経緯

平成24年、庁内のイントラサーバー機器更新事業に合わせて、ホームページについてもリニューアル実施し、これまで運用してまいりました。この間、インターネットを取り巻く環境は急速に変化を続け、ホームページの運用や見やすさに対して、中頓別町総合開発委員会などの場で意見が出ることもありました。

このことを踏まえ、町民や中頓別町に興味を持った方が利用しやすいホームページとなるようリニューアルを実施しました。

リニューアル方針

- ・アクセスした人が欲しいサービスを取り出しやすくすること
- ・中頓別町の良さが伝わるデザインやレイアウト
- ・行政のwebサイトとして多くの人にとって見やすい設計（アクセシビリティの確保）

今までのサイトと大きく異なるところは、情報に辿りつけるように、メニューをわかりやすく作成したことが挙げられます。情報を選択していくことで、欲しい情報に辿りつくことが可能となりました。また、これまではスマートフォンから閲覧するとパソコン用の画面が表示され、操作性も悪い状態でしたが、スマートフォン用の画面を表示できるようになりました。リニューアル後についても、一定の期間ごとに記事や分類を見直し、再整理を行うことで利用者が迷わないホームページを維持していくこととしています。

例) 「不妊治療助成に関する申請書」をダウンロードする場合

1. カテゴリから探す
トップページ > 健康・医療・福祉 > 妊娠・出産 > 中頓別町不妊治療費助成事業
2. 各種申請書ダウンロードから探す
トップページ > 各種申請書ダウンロード



不妊治療助成に関する申請書だけでなく、住民票の郵送請求、施設利用の申請書なども、左図の「申請書ダウンロード」からダウンロードすることができます。

ここからダウンロード

中頓別町の良さと情報を
誰でもどこからでも提供できるように



四季折々、自然の美しさがある
中頓別町の良さが全面に伝わるようなデザイン

平成29年度 地域懇談会 「町長がおじやまします 団体編」 実施報告

平成29年度の地域懇談会「町長がおじやまします団体編」が10月2日から10月17日までに実施した8団体と、12月に開催した2団体を加えた計10団体で行いました。

懇談では、各団体ごとに特色のある質問や意見が多くあがりました。

今回は、団体ごとに発言された主な質問と、それに対する回答についてお知らせいたします。

懇談内容

ひよっこクラブ

両親が働いている家庭の子でよく放課後子どもプランに行っていると聞く。どういうものなのか。

放課後子どもプランは学童保育と放課後児童教室を合わせたもので、小学生が放課後に勉強や遊びなどをできるようにして、低学年のうちには参加率が高い。今後は英語にも力を入れ、切れ目のない英語教育を行うことで中学校に上がるまでに日常会話ができるくらいになること

を目指している。

老人クラブ連合会

近隣町村の中で、中頓別町は敬老会でのお祝いが少ない数少ない町である。ほかの町では敬老会にお祝金を出している、中頓別も以前はあったと思う。高齢者に対してお祝金があれば生きがいになると思うがどうだろうか。

祝金という形ではないが、病院の医療費を月上限2,000円で支援している。仕組みができてから何年か経過しているが、現状では元気な人への支援はない状態であり、元気でいようという意欲に繋がる仕組みであった方がいいのではと考えている。今後に向けてこの制度の見直しを検討していきたい。

町内に元気な年寄りがたくさんいる。以前は高齢者のできる仕事として薬草を作り北見まで行ったこともある。高齢者の就職について行政で対応できないか。

高齢者のグループで生き甲斐づくり、仕事づくりを考えてい

きたい。

地区によってさまざまだと思うが、小頓別は一人暮らしの老人が多い。声掛けなども難しい。孤独死が心配だ。

見守りや声掛け、居場所づくりに取り組んでいきたい。小頓別では支援員の配置を続けていきたい。

森林組合

バイオマスの活用について、町としては木質バイオマスを検討していると聞いたが、家畜ふん尿も考える対象か。

家畜・木質両方のバイオマスを検討しており、中頓別にあった活用法を探すため、資源調査を行っている。

林業でも利益が得られる環境になれば事業も増える。経済効果があるものにしていくべき。

高機能林業機械の導入を含め林業の振興を目指していきたい。

建設協会

近年は、大規模災害が無くなっている。建設協会としても災害に即応できる体制づくりをしていかなければと考えている。

建設業が健全に持続されることは防災林業としても重要。計画的に公共工事を進めていきたい。

スキー場のロッジについて、寿スキー場は雪質が良く、国道にも近い。宿泊施設やピンネシリ岳にバックカントリースキーのコースを作って活用してはどうか。

リフト・ロッジの改修で約3億円を想定しており、バリアフリーに向けての改修も行っていく。

4Hクラブ

牛の育成センターの話があるが、どうなっているのか。

道営事業で事業化を検討している。農家の要望に応えられるよう、できるだけ早く着手できるように努力していきたい。

現在、なかとん牛乳が展開されているが、なかとんアイスも出ていると聞く。なかとん牛乳も定着しきっているとは言えないので牛乳への取り組みを先にやるべきではないか。

牛乳の取り組みを薄くするわけではなく、6次産業化の取り組みの中で、試行錯誤しながら進めている。

まちづくり協議会

情報発信が苦手な町という印象になっている。イベントなどの広報も事後になっている。予告的なことを多くした方が良いと思う。

情報発信については、町のHPのリニューアルを考えている。Facebookをもっと利用するなど、情報発信を積極的に進めていきたい。

南宗谷福祉会

お年寄りがもっと外に出ていけるなど外出をサポートできる仕組みが必要ではないか。

施設の利用者を含めてもっと外出の機会を増やせるよう検討していきたい。

商工会

商工会館が老朽化しており、限界にきている。管理も兼ねて町有施設に会館を移してはどうかという話が会員の中であるため、町と協議を進めていきたい。

具体的にどこがいいかを考えていく必要があると思う。町として管理する公共施設を減らしていきたいと考え方もあり、協議していきたい。

なかとん牛乳が今までの週2回から週1回の製造になったのはなぜか。

お客さんが買いにくるとちょうどないことが多い。今の製造量から落とさないようにするべきだと思う。

夏場は需要があったため、週2回の製造を行っていたが、冬になると需要が少なかったため、10月からは週1回の製造とした。今後に向けては需要の拡大に努めていきたい。

役場に行くのと町外事業者から購入した物品が置かれていることがある。商工業者としては残念に思う。

基本的には町内での調達に努めているが、より徹底して町内の購入を進めていきたい。

黄金湯を応援する会

黄金湯は、高齢者の居場所、障害者の雇用、移住者のネットワーク、町からの情報発信など多くの役割を担っている。存続のためには町として支援してほしい。

どうしたら存続できるのか、支援する会ができること、町としてできることを一緒に考えていきたい。

商工会青年部

イベントへの職員の参加について、今は少し楽になったが、人が足りず準備や片づけが大変だ。観光協会・商工会・役場といったくくりで仕事を分けるのではなく、DMOの構想があるならば包括して進めることはできないか。

人口が減っている中、イベント自体が昔と同じ回数で苦しいと思う。本年度以降DMOの立ち上げに向かって検討を進めている。今後、イベントなどをどのようにしていくかを共に考えていく。

カーリング場について、スポーツ推進を進めるならばカーリングを再開してはどうか。最近では人気が出てきているので、やりだせば面白いと思う。

冬季スポーツは重要だと思っ
やろうという人がいるなら応援
したい。



▲4Hクラブとの懇談の様子



▲商工会青年部との懇談の様子



▲まちづくり協議会との懇談の様子

自分らしい時間を過ごすために…

ご利用下さい!!

早いもので、もう3月。年度の終わりが近づいてきました。卒園式や卒業式：ひとつステップを上って、次のステップに踏み出す準備で忙しいことと思います。でも、年度は変わるけれど、いつもの時間が流れていくといった感じの方も多いかもしれませんね。

毎月、保健師・栄養士がこの貴重な1ページをいただき、健康に関するお話しをさせていただいています。

昨年5月の特定健診・骨粗鬆症検診に始まり、今年2月のがん検診まで、様々な「身体をチェックする機会」がありました。受けていただいた方：ありがとうございます。また日程が合わず受

けることができなかつた方、申し訳ありませんでした。

町ではより多くの方に検（健）診を受けていただけるよう旬報や町のホームページへの掲載、チラシの配布、個別にハガキを送らせていただいています。また、検（健）診前には、受診をお勧めする電話もかけさせていただいています。時々「健診を押し売りしているのでは!？」と思うこともありますが、「もうそんな時期だったね」「受けようと思っていたよ」と言っていただけのこともあり、また気持ちを新たに検（健）診をお勧めさせていただいています。

□「検診」？「健診」？

同じ「けんしん」ですが、意味がちよつと違います。まずは「検診」についてです。代表は「がん検診」です。町では、胃・肺・大腸・乳・子宮・前立腺・喉頭がん検診を行っています。検査をして、「特定の場所の異常（病気）を早期発見し、精密検査につなげる」ことが大きな目的になっています。がん検診以外には「骨粗鬆症検診」「肝炎ウイルス検診」「エキノコックス症検診」「MRIによる頭の検診」があります。特定の場所とは、胃がん検診では「胃」しか見ませんし、骨粗鬆症検診は「骨」しか見ないということです。

もう一つの「健診」は「特定健診」「8020さわやか健診（成人歯科健診）」「乳児健診」「1.6歳児健診」「3歳児健診」などで、問診や医師の診察、検査データから「身体を広く見て、現在の身体の状態を知る」ことが目的になります。異常だけでなく弱っている部分を知ることができません。異常については精密検査へとはつなげますが、弱った部分については、「それ以上悪化させないためにどうするか考える」生活を振り返る「機会になります。その「考える」振り返る」ことを栄養士・保健師と一緒にさせていただいています。

□平成30年度の検診・健診が変わります

町では、より充実した検診・健診とするために、

平成30年度から【対象年齢】や、【内容】を変更する予定でいます。詳細は、旬報やチラシ、ホームページ等でお知らせいたします。

これからもみなさんが、元気に自分らしい時間を過ごしていただけるよう！検診・健診をご利用いただきたいと思います。

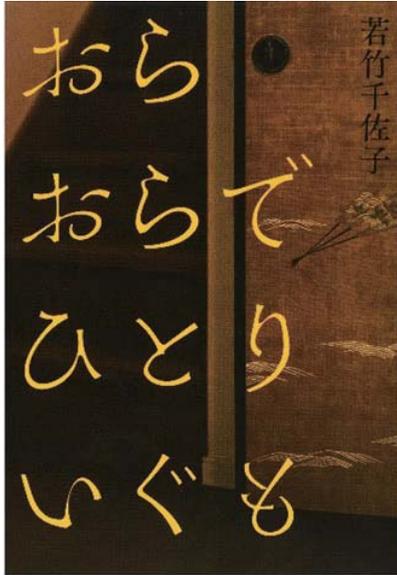


図書室だより

『おらおらでひとりいぐも』

著：若竹 千沙子 河出書房新社

一般書



74歳、ひとり暮らしの桃子さん。夫に死なれ、子どもとは疎遠。新たな「老いの境地」を描いた感動作！第54回文藝賞受賞。第158回芥川賞受賞。

『小さな小さな虫図鑑』

著：鈴木 知之 偕成社

児童書



身近にいる5mmぐらいまでの小さな虫を200種以上紹介する、世界初の図鑑。見てびっくりの虫がたくさん登場！

今月の新着図書 (2月20日現在)

一般向け図書

- | | |
|----------------------|----------|
| 『おもかげ』 | 浅田 次郎 |
| 『夫の後始末』 | 曾野 綾子 |
| 『異形のものたち』 | 池 真理子 |
| 『悪魔とのおしゃべり』 | さとう みつろう |
| 『ノーマンズランド』 | 誉田 哲也 |
| 『8年越しの花嫁 キミの目が覚めたなら』 | 中原 尚志・麻衣 |

児童向け図書

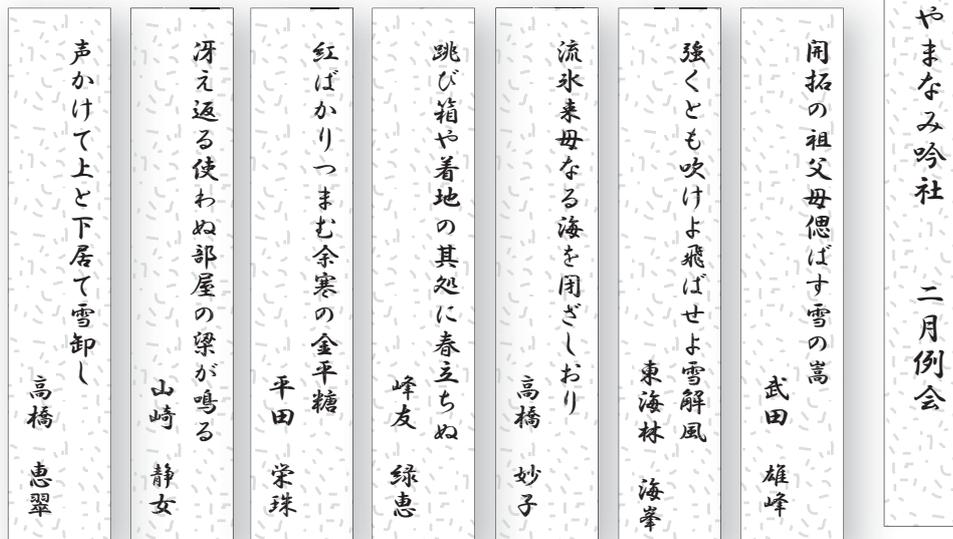
- | | |
|--------------------------|-------|
| 『絵物語 古事記』 | 富安 陽子 |
| 『ざんねんな偉人伝』 | 真山 知幸 |
| 『もっとしくじり動物大集合』 | 新宅 広二 |
| 『かいけつゾロリのちていたんけん』 | 原 ゆたか |
| 『おたのしみじどうはんばいき』 | 宮知 和代 |
| 『ウソ？ホント？トリックを見やぶれ (全3巻)』 | 市村 均 |

※その他、多数の新着図書が入りました。ぜひご来室ください。

【お願い】 図書室から借りたままになっている本はありませんか？
貸出期間は2週間ですので、早めの返却をお願いします。

It is good that we have lived in Nakatombetsu
and we would like to live there for long.

— 住んでいてよかった これからも住んでいたい —



戸籍だより

2月1日～2月28日受付分
(公開にご了承いただいた方のみ
掲載しています)

出生・死亡・婚姻に係る人口
の異動はありませんでした。

人のうごき

(平成30年2月28日現在)

世帯 887(±0)

人口 1,760(+2)

男 871(+2)

女 889(±0)

()内は前月対比

訂正とお詫び

広報なかとんべつ2月号の記事に一部誤りがありましたので、訂正しお詫び申し上げます。

□今月の Pickup

平成32年度以降の小学4、5年生の外国語科の授業時間
誤：15時間

正：35時間

□戸籍だより

平成30年1月31日現在分
女性人口

誤：889人(±0)

正：889人(-2)

電源立地地域対策交付金の紹介

電源立地地域対策交付金とは、発電用施設などの周辺地域での公共用施設の整備や、住民福祉の向上に資する事業に対して交付金を交付することで、電源開発事業の理解促進を図ることを目的としています。

当町では、幌延深地層研究センターが交付金の対象施設となったことで平成15年から交付を受けており、平成29年度は10,243,248円が交付され、「中頓別町国民健康保険病院運営事業」の一部に充てられています。

編集後記

〇気が付けば早いものでもう3月です。そしてちょうどキリよく、この年度末号で広報なかとんべつは700号となりました！次の大台にしっかり繋げられるように、そしてこれからもみなさんに町の情報をどんどん届けられるように頑張っていくので、よろしくをお願いします。

〇近頃、インフルエンザがまた流行りだしていると聞きました。私の周りでも発症してしまった人がいます。これから季節の変わり目で体調を崩しやすくなりますので、みなさんどうぞ注意してお過ごしください。

【広報担当 A】

広報なかとんべつ 3月号 Vol.700

【発行】 2018年3月12日

【編集】 中頓別町総務課政策経営室 〒098-5595 北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172-6

TEL 01634-6-1111. FAX 01634-6-1155

HP <http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp> e-mail koho@town.nakatombetsu.lg.jp

【印刷】 有限会社 天北印刷工業

*この広報誌は再生紙を使用しています。